

2020年度 年末手当シリーズ③⑩

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

会社は過去最高益でも、ボーナスは業績連動ではなく「安定支給」と言って抑えてきた。ボーナスは生活給！財務面で十分な資金調達もしているのだから**3.0ヶ月**がほしい！

未来のJR東日本を支える社員に、今を踏ん張る力を！

コロナの影響もなかった夏ボーナスの削減に納得がいきません！
今回のボーナスは勝ちとってほしい！**3.0ヶ月満額回答**を！

今月から住宅ローンが始まる。安定支給を見込んで組んでいる！家族も不安を抱いている。頼むから**3.0ヶ月の満額回答**を！

年末手当は、私たちにとって生活していくのになくてはならないものである！この闘いに勝利して、満額を勝ちとろう！

このコロナ禍の状況で、みんなストレスがたまっている。年末手当に期待している！

年末手当**3.0ヶ月**は絶対です！

夏に続いて低額ではやる気が低下するばかりです。若い人は転職も考えているといひます。経営の安定が社員の幸福を保証するというならば、経営を安定させるため社員に投資すべきです！

職場では、現場長などが「赤字だ！赤字だ！どうするんだ？」と繰り返し、一現場社員に問われています。それにより、現場の雰囲気は最悪です。「頑張ろう！」というモチベーションすら削がれている現状です。特に若手社員。事象にも至らない小さなミスですら許されず「信頼が揺らぐ」とプレッシャーを掛けられています。いま、職場はコロナ禍による業績不振より深刻な状況だと思ひます。業績はコロナの収束で回復できても、一度会社から離れた心は回復しません。30歳前後の社員は本気で転職を考えています。

それら現場のモチベーションを上げるには、年末手当の安定支給しかありません。**3.0ヶ月**要求は妥当であり、組合で「財務勉強会」を未加入者含めて開催し、支払い体力は十分にすることも職場で広めています！

東日本ユニオン本部は、それらの現状と想ひを受け、第一回団体交渉で主張してくれました！私たちも現場で日々奮闘しています。本部と共に満額獲得に向け、頑張っています！